

令和元年

亀山市教育委員会第4回臨時会会議録

亀山市教育委員会第4回臨時会会議録

1. 日 時

令和元年8月5日（月） 午後1時30分開会

2. 場 所

亀山市役所本庁舎3階 理事者控室

3. 出席委員

教育長	服 部 裕
1番委員	太 田 淳 子
2番委員	若 林 喜美代
3番委員	大 萱 宗 靖
4番委員	宮 村 由 久

4. 欠席委員

なし

5. 議事参与者

教育部長	草 川 吉 次
教育総務課長（以下総務課長という。）	大 泉 明 彦
学校教育課長（以下学校課長という。）	西 口 昌 毅
参事（兼）生涯学習課長（以下参事生課長という。）	亀 山 隆
図書館長	井 上 香代子
学校教育課主幹兼学事教職員グループリーダー（以下学事GLという）	高 宮 綾 子
学校教育課主幹兼教育研究グループリーダー（以下教研GLという）	加 藤 尚 大
学校教育課主幹兼教育支援グループリーダー（以下教支GLという）	平 野 朋 希
教育総務課主幹（兼）教育総務グループリーダー（書記）	草 川 正 富
教育総務課教育総務グループ主査（書記）	早 川 美 紀

6. 会議録署名者指名

2 番委員 (若 林 喜美代 委員)

3 番委員 (大 萱 宗 靖 委員)

7. 議事事項

教育長 議案第 28 号「令和元年 9 月亀山市議会定例会教育行政現況報告について」を上程し、事務局の説明を求める。

教育部長 議案第 28 号「令和元年 9 月亀山市議会定例会教育行政現況報告」であります。令和元年 9 月市議会に提出する市の教育行政現況報告について別紙のとおり策定しようとする事について、委員会の議決を求めるものであります。現況報告については、事務局が朗読します。

(令和元年 9 月亀山市議会定例会教育行政現況報告事務局朗読)

太田委員 1 ページから 2 ページにかけて学校教育関係の中で、教職員の休暇について記載があるが、夏期休暇の間、教職員は研修等に参加していると思われるので、その記載をするべきだと思う。3 ページで、「学力向上を図ってまいります」との記載があり、6 月の現況報告の際にも、教職員の研修担当者が集まって授業力の向上を図ると述べており、その取り組みも進んでいると思われるため、研修等への参加内容を含めた方がよいのではないかと。3 ページの「学力の向上」の部分で、平均正答率を上回っているものに関しては全国と県の記載があるが、下回っているものに関しては、全国を省いているが、保護者に現実を報告することも必要ではないかと思うので、記載するべきではないか。2 ページの学校運営協議会委員等研修会開催の件だが、参加した 60 名のうち保護者の割合を教えてほしい。5 ページの図書館関係だが、管理運営の検討状況を教えてほしい。

学校課長 まず、教職員の夏期休暇中の研修については、主なものを記載させていただきます。学力向上の部分ですが、5 項目のうち 4 項目は国の正答率より県の正答率の方が高かったため、県を基本に記載しました。これまで県を基本にしていたため今年度も統一させていただきます。

大萱委員 確かに数学は県の方が国より高く、国語は国の方が県より高い。全体的によくになっているため、記載すればよいかと思う。

教育長 記載について検討してもらえますか。

学校課長 はい。

- 参事生課長 図書館の件について、本日の資料、ニュースレターの第9号に現在の検討状況について示させていただきました。後ほど説明いたします。
- 学事GL 学校運営協議会委員等研修会開催の件で、地域の方と保護者を合わせて37名、教職員が26名の参加です。保護者だけの人数については正確に把握しておりません。
- 教育長 地域の方が3分の2ぐらいではなかったか。
- 学事GL はい。地域の方の方が多かったと思います。
- 大萱委員 コミュニティ・スクールが立ち上がっていないところもあるが全ての地域の方に参加いただいているのか。
- 学事GL 参加校は、認定校9校と今年度準備校3校を合わせて12校の保護者及び地域の方です。
- 大萱委員 残り2校には声をかけていないのか。
- 学事GL 今回は人数の都合上、声をかけていません。
- 大萱委員 まだ立ち上がっていない学校にも参加してもらい、検討してもらってはどうかと思う。
- 太田委員 次回開催はいつ頃になりそうか。その際、立ち上がっていない学校にも声をかけるか。
- 学校課長 終わってからの感想を見るとかなり好評であったため、次回開催を考えていますが、いつになるかは決まっています。
- 教育長 年度内に開催するよう指示している。
- 太田委員 保護者が関わることに意味があるため、立ち上がっていない学校の保護者にぜひ声をかけていただきたい。
- 教育長 ただ今、ご指摘いただいた意見を取り入れながら、年度内の開催ができるよう早期に検討をお願いします。
- ご指摘の部分を修正させていただき、最終、私に一任いただくことでよろしいか。
- (全委員異議なし)
- (ほかに質問はなく、議案第28号は可決される。)
- 教育長 続いて、議案第29号「令和2年度使用小学校用教科用図書及び令和2年度使用中学校用「特別の教科 道徳」以外の教科用図書の採択について」審議したい。ここで事務局内の関係課以外は退出を許可する。
- (関係課以外退出)
- 教育長 審議に入る前に許可をいただきたいが、教科書採択については、採択の公正を確保するため、三重県北勢第3地区教科用図書採択協議会では、採択業務が終了する8月31日までは、採択業務に関する文書を非公開としている。本日、亀山市教育委員会は

教科書の採択を決定する予定だが、地域への影響も考慮して8月31日までは非公開としている。傍聴人の方におかれては、傍聴に係る趣旨を理解いただき、採択結果等による公表については控えていただくようお願いする。しかし、その一方で、透明性の確保、開かれた採択を一層推進するという教科書採択の方針もある。そこで当教育委員会においては会議を「公開」とし、進めさせていただきたいと思うがよろしいか。

(全委員異議なし)

教育長
教育部長

それでは、教育部長提案をお願いする。

議案第29号 令和2年度使用小学校用教科用図書及び令和2年度使用中学校用「特別の教科 道徳」以外の教科用図書を別紙のとおり採択しようとするものです。小学校用の教科は、記載の国語から道徳までの教科を、また中学校用の教科は記載の国語から英語までの教科です。提案理由としましては、三重県北勢第3地区教科用図書採択協議会で推薦されました令和2年度使用小学校用教科用図書及び令和2年度使用中学校用「特別の教科 道徳」以外の教科用図書について委員会の採択決定を求めるものです。詳細につきましては学校教育課長より説明します。

学校課長

議案第29号「令和2年度使用小学校用教科用図書及び令和2年度使用中学校用「特別の教科 道徳」以外の教科用図書の採択について」ご説明します。今年度は、令和2年度から使用する小学校用教科用図書及び令和2年度使用の「特別の教科 道徳」以外の中学校用教科用図書の採択をする年になっています。委員の皆様の上には、三重県教育委員会が作成しました黄色の冊子の「令和2年度使用小学校用 教科用図書選定に関する参考資料」及び同じく黄色の冊子の「平成28年度使用中学校用 教科用図書選定に関する参考資料」、そして、三重県北勢第3地区教科用図書採択協議会調査員が作成しました「令和2年度使用 小学校教科用図書選定調査報告」及び「平成28年度使用 中学校教科用図書選定調査報告」の4種類の資料を置かせていただきました。それらとともに、後ほど、係の者が置かせていただきます該当教科の教科書を参考にさせていただきまして、令和2年度使用の小学校教科用図書及び令和2年度使用の「特別の教科 道徳」以外の中学校教科用図書を決定していただきますようお願いいたします。まず、小学校教科用図書から説明します。

令和2年度に使用する小学校教科用図書の採択につきましては、「義務教育諸学校の教科用図書の無償措置に関する法律」により、県教育委員会の指導・助言を受けながら、鈴鹿市・亀山市

の2市で三重県北勢第3地区教科用図書採択協議会を組織して進めてまいりました。各教科の調査につきましては、6月4日を始めとして、調査員会を3回から4回開催し、調査をして参りました。そして、去る7月26日に第2回三重県北勢第3地区教科用図書採択協議会が開催され、採択地区内の各教育委員会に推薦する令和2年度使用小学校教科用図書が決まりましたので、提案させていただきます。調査員会では13種目について、入念に教科書の調査を行うとともに、教科書法定展示会や、鈴鹿市、亀山市内の小学校13校(鈴鹿市10校、亀山市3校)を会場に行われた移動展示会におけるアンケート用紙に記載されている意見も参考にして協議を重ねてもらいました。調査員会の協議をまとめたものが、「令和2年度使用 小学校教科用図書選定調査報告」になります。報告は、推薦する図書を含めた2社をAグループ、それ以外をBグループとする形式で作成されております。Bグループ内での順序はつけておりませんので、記載順は適宜でございます。およそ、良い点は白丸、良くない点は黒丸、それ以外は黒点で記載がされています。それでは、推薦する教科用図書及びその図書の推薦理由を中心に説明させていただきます。

まず、「国語」から進めていきます。調査報告の1ページから参考にしてください。

「国語」につきましては光村図書出版を推薦いたします。その主な理由としましては、児童が自ら学習に取り組めるような工夫が随所になされていることが挙げられます。例えば、3年生下をご覧ください。その中に「もちもちの木」があります。そちらを見ると、121ページの表紙に「これまでの学習」として前に習ったことの振り返りを促し、系統性を大事にしています。そして、134、135ページにかけて、「とらえよう」「ふかめよう」「まとめよう」「ひろげよう」と学習の進め方が明示され、見通しをもって取り組めるようになっています。また、「話し合いの例」として、どんな対話を取り入れるといいか参考となるイラストも示されています。これらは各学年において同様の構成となっており、主体的で対話的な学びの実現につなげることのできる内容といえます。単元内容の選択という点においては、説明的な文章や文学的な文章も、適切で多様なテーマの教材が取り扱われています。たとえば4年下44ページをご覧ください。「世界にはほこる和紙」のように地域への愛着や誇りをもつことができるような単元や、3年下12ページ「ちいちゃんのかげおくり」のように命の大切さや平和について考えさせる教材が配列されてい

ます。構成の点でも、説明文では、3年生以上は2教材構成になっており、たとえば5年生では46ページの「見立てる」という短い教材で要旨の捉え方を学習した後、48ページからの「言葉の意味が分かること」で、構成や表現に注意して、長い文章の要旨をまとめるという構成になっています。これは、思考力や判断力を育成していく上では効果的だと思われます。次に、読書指導の充実という点につきましても、読書の幅を広げる工夫が各学年でされています。たとえば2年上を見ていただきますと、9ページの目次で確認できますように、「どくしょ」として「図書館たんけん」と「お気に入りの本をしょうかいしよう」「ミリーのすてきなぼうし」の3教材が取り扱われていることに加えて、26ページにありますように単元ごとに「この本、読もう」として、関連本の紹介があり、読書への関心、意欲を高めています。次に、情報の扱い方につきましては、学習指導要領で「情報の扱い方に関する事項」が新設されており、大事な視点となりますが、2年生以上は「情報」の系列を設けるとともに、日常生活に活かせる力となるよう工夫されています。例えば、6年生教科書の264ページの「デジタル機器を使って、プレゼンテーションをしよう」では、インターネットの検索方法を確かめたり、デジタル機器を使ってプレゼンテーションしたりするなど、情報活用能力の育成に向けた活動が多く取り上げられています。他教科との関連につきましても、生活科や道徳、図工等、各教科との関連を意識し、国語の学びを多方面へ広げ深めることができる構成になっています。例えば、2年生上52ページの「かんさつめいじんになろう」は生活科と関連づけながら、書く力の育成を図っています。また、2年生下34ページの「そうだんにのってください」では、道徳と関連づけ、話す・聞く力を伸ばすことをねらっています。以上ことから、光村図書出版を推薦します。

教育長 委員の皆さんには複数の場で教科書を見ていただく機会があったと思います。先ほどは、光村図書出版の説明となったが、何か気づく点、質問などあればお願いします。

大萱委員 先ほど説明いただいた内容は、選定調査報告に記載があるのか。

学校課長 この報告書を基に、先日の協議会で出された提案等をまとめた文章であり、全て一致している文面ではありません。

宮村委員 冒頭にAグループとBグループに分かれていて、Aグループの光村図書出版だけを説明されたのはどういう意味か。

学校課長 確かにAグループには光村図書出版と教育出版社があり、協議会の中ではそれぞれの教科書の良いところを挙げながら光村図書出版を推薦することになりました。時間的なこともあり、亀山市と鈴鹿市で統一して、光村図書出版だけの良いところを説明させていただくこととなりました。

宮村委員 北勢第3地区でAグループ2社に絞り込み、光村図書出版を推薦しようというところまでが採択協議会の協議だということか。

学校課長 そうです。

教育長 光村図書出版の課題、改善点があれば教えてほしい。

学校課長 調査報告の1ページ目が光村図書出版に関わることで、その中に黒丸が1つあり、調査員から指摘を受けたことが記載してあります。2ページ目の下の使用上の便宜という箇所、黒丸が1つあります。この2点が調査員から指摘をいただいた箇所です。

教育長 そのように見ていただきたいということですね。

学校課長 はい。

太田委員 先ほど説明された良いところが教育出版社にはなかったのか。比較をした際に、光村図書出版にしかないところはあるか。

教支GL 光村図書出版は昔から使われている教材がいくつか掲載されており、世代を超えて親しまれる教材が使われていることが他にはない点です。

教育長 説明的な文章の数が少ないと書かれていたり、写真や図が別のページに載せてあったり、小さくて分かりにくい等、黒丸を見てください、ということですね。

学校課長 そうなります。

宮村委員 県が作成した選定に関する参考資料を基にそれぞれの採択協議会が開かれ、これが反映されているということか。資料にはそれぞれの出版社の長所、短所が書かれているということか。その中から採択協議会が光村図書出版にしたということか。

学校課長 そうです。各教科において調査員がいて、県から出された資料も参考にしながら再度自分の目で教科書を全て見ていただいた上で、調査報告が出されました。

宮村委員 県から出されたこの資料を作成した人はどういう人なのか。第3地区採択協議会の調査員のメンバーは誰なのか。何人くらいでどういうメンバーなのか。

学校課長 第3地区の調査員の人数ですが、教科によって違いますが、国語ですと、教諭や指導主事、学校長、保護者も含めて7人です。

教育長 6～7人の保護者を含む教育関係者で、4回ほどの調査が行われている。県の方は、三重県教科用図書選定審議会が設けられ、

三重県教育委員会に答申され、この資料ができている。その主な構成員は、大学教授や、教育長会、学校長会、教頭会、現場から出てきた者で構成されている。あと、県PTA連合会の方もおり多様な構成となっている。そこから教科ごとに調査員が依頼され、まとめられている。県のこの段階では優劣をつけないことを前提としているようである。特徴的なこと、良い点を挙げている。

それでは、国語科については推薦のあった光村図書出版に決定してよいか。

(全委員異議なし)

教育長
学校課長

では、国語科については光村図書出版に決定する。

次に、書写について説明します。書写については、東京書籍を推薦します。その主な理由としては、1点目は手本が分かりやすいということ、2点目は様々な児童に配慮されているということです。書写においては、手本をよく見ることが重要ですので、その字体や大きさがわかりやすいことが求められます。硬筆、毛筆ともに、字体や大きさがわかりやすく編集されています。また、1年生や3年生の硬筆・毛筆の入門期には、鉛筆や筆の持ち方や、穂先の運びなどが写真等で示され、入門時にていねいな指導を進めることができるよう構成されています。また、2年生の19ページのようにお手本の位置を中央に示すなど、左利きの児童への配慮もされています。さらに3年生以上の教科書には書き込めるようにしてあり、毛筆で学んだことを硬筆に活かすこともでき、多様な使い方が出来る教科書です。以上のことから、東京書籍を推薦いたします。

教育長
学校課長

3年生の29ページでは、濃い薄い分かり、力の入れどころが分かりやすい。視覚的に分かりやすくしてある印象である。

調査報告の6ページの左側、手本と同じ紙面に朱書きの文字も示されており、筆遣いが分かるような工夫がされているという記載があります。

宮村委員

どちらにするかという判断は難しいが、黒丸の数は東京書籍の方が少ない気はする。先ほどの説明のように、県で多様な方が参加し参考資料を作り、それを参考に第3地区で選定されてきたものが東京書籍ならそれでいいという判断となる。

若林委員

東京書籍は机に置いた際に幅が広いのが気になるが、始筆、送筆、終筆、はらい、反りが丁寧に描かれており、指導する側にも分かりやすい。

教育長

推薦のあった東京書籍に決定してよいか。

(全委員異議なし)

教育長
学校課長

書写については、東京書籍に決定する。

次は社会になります。「社会」につきましては、日本文教出版を推薦いたします。その主な理由としましては、マックスバリュウ、輪中、本田技研、四日市公害等、鈴鹿市や三重県に関連の深い地域や企業が多く取り扱われており、児童には、社会事象をより身近なものとして捉えることができることが挙げられます。

また、5年78、79ページでも分かるように、全体的に写真や図解が鮮明でインパクトがあり、より印象に残る効果的な資料が多く掲載されています。東京書籍の5年上76、77ページと比べてみると分かりやすいかと思えます。さらに、内容の選択や構成といった面においても、例えば、「つながりの深い国々のくらし」という單元では、アメリカ、中国、ブラジル、韓国が取り上げられ、この地域と関係の深い国について、しっかりと学習ができる内容になっています。加えて、日本文教出版は各学年とも1冊の教科書でまとめられており、これまでの学習を振り返ったり関連させて学習したりしやすくなっております。

以上のことから、日本文教出版を推薦いたします。

宮村委員
学校課長
教育長

厚みが半分くらいですね。

東京書籍は2冊に分かれています。

日本文教出版は、5年を1冊で仕上げているため厚い。教科書を必ず持って帰らなくてはならないということはないのか。

学校課長

特に家庭学習に必要なければ学校に置いていく方向で動いています。分厚い本ではあるが、前の学習の振り返りができるよう1冊にまとまっていた方がよいということです。

宮村委員
学校課長

そういう考え方は社会だけなのか。算数等はどうなのか。

他の教科でも分けるか分けないかは議論として挙がっていました。算数については低学年では分かれていたと思えます。

宮村委員

これほど厚い教科書は、持ち帰らなければよいだろうが、かなり重い。

教育長

家庭学習で多いのは国語、算数という教科になってくるし、授業時数も多いことから、上下に分かれていることが多いと思う。社会については教科書を置いていく、いわゆる「置き勉」の流れはあります。課題を出したときは持ち帰らせるが、必ずしも持ち帰らなくてもよいということはある。それでは、社会科は日本文教出版としてよいか。

(全委員異議なし)

教育長

社会科は日本文教出版に決定しました。

学校課長 次は「地図」です。「地図」につきましては帝国書院を推薦いたします。その主な理由としましては、資料の見やすさ、使い勝手の良さが挙げられます。まず、見やすさという観点ですが、一例として帝国書院33、34ページと東京書籍23、24ページの九州地方の地図を見比べてください。東京書籍は細かな地名や特産物まで掲載されていますが、それがかえって地図を見にくくしています。一方、帝国書院は、色合いがやさしく地名や特産物の絵も見やすい上、情報量も適当です。また、「地図マスターへの道」が随所に掲載され、具体的な問いかけにより、興味をもって主体的に学習に取り組めるよう工夫されています。

次に、使い勝手の良さという観点ですが、帝国書院では15ページ～18ページの「地図帳の使い方」が詳しく示されており、レイアウトもまとまりがあり見やすいので、初めて地図帳にふれる3年生にもやさしく活用できるよう配慮がなされています。また、帝国書院は87ページからの巻末資料がていねいに仕分けされ、情報を把握しやすいよう工夫されています。特に103、104ページの「日本の統計」では、単に統計表だけでなく、下段に主な農産物の生産量や割合、工業の生産額のグラフが掲載されており、資料として活用する際には効果的です。以上のことから、帝国書院を推薦いたします。

太田委員 教科書の後ろにQRコードがあるが、この教科書に決まれば、教員はこのQRコードを使って授業をするようになるのか。

学校課長 活用できるようになると思います。

教育長 県の参考資料は、指導要領で、情報機器を使ってうまく教科の発展学習につなげられるようなものが、地図帳に限らず全教科の重要な視点としている。多くの出版社がそれを強く意識している報告があった。

若林委員 東京書籍は、子ども向けの工夫がある。キャラクターが随所に出てきているが、調べ物をする時には、ない方がよいのではないかと思う。必要な情報が見ることができる方が学習上必要だと思う。帝国書院の方がすっきりしている。

教育長 調査部会からは、東京書籍は黒丸が多いという報告も出ている。採択に入ります。推薦のあった帝国書院に決定してよいか。
(全委員異議なし)

教育長 帝国書院に決定します。

学校課長 次は、「算数」になります。「算数」につきましては、東京書籍を推薦いたします。その主な理由としましては、めあてやまとめがきちんとおさえられ、分かりやすく表示してあったり、子

もの思考の過程を大切にしながら計算の意味をしっかりと考えさせたりするものになっており、学びを深める展開がしやすい内容になっていることが挙げられます。

また、ページの構成もよく考えられており、フォントもUDフォントが採用され見やすく、6年111ページのように、求積する形を、部分ごとに色を変えて表示してあるなど、図や写真もわかりやすく示されています。さらに、4年生上46ページのように、計算の練習問題では、特に大切な問題に色をつけ、しっかり意識をして解いていけるようにしてあります。単元の終わりに、6年116ページからのように、「いかしてみよう」、「たしかめよう」、「つないでいこう算数の目」が設けられており、学習の仕上げができるとともに、学んだことを活用できる単元構成になっています。加えて、1年生の教科書は、①・②に分けられており、①はA4判で大判化され、また、フラットに開けるようにしてあるので、教科書の上にブロックを置くときにずれにくい等、数学的活動が確実にできるようになっています。また、ノートと合わせたオールインワン型にしてあるので、教科書だけを広げて学習することができます。入学したばかりの入門期に、無理なくスムーズに学習ができるという点でも、工夫された教科書になっています。

以上のことから、東京書籍を推薦いたします。

教育長

啓林館は白丸が多いように思うがAグループに入らないのはなぜかと思う。推薦しているのは東京書籍なので確かな答えが分からないならよいが。

学校課長

調査報告を見ると、Aグループの東京書籍にしても学校図書にしても白丸の数は多い。啓林館は黒丸が少ないが白丸も多いとは言えないと思います。

教育長

東京書籍は、多くの創意工夫があるということですね。東京書籍、学校図書は6年生だけ1冊となっている。

太田委員

東京書籍の方が良い意見が多く上がっている。分冊にもなっているし考慮されていると思う。

教育長

推薦のあった東京書籍に決定してよいか。

(全委員異議なし)

教育長

それでは東京書籍に決定します。

学校課長

次は理科になります。「理科」につきましては、新興出版社啓林館を推薦いたします。その主な理由としましては、問題解決の流れをラインで結ぶとともに、ロゴや色、大きさで区別し、問題とまとめを対応させることが容易で、振り返ることもできる工

夫がされているとともに、巻末の特集が整っていることが挙げられます。

また、発達段階に合わせた実験の工夫もなされています。6年生の「だ液によるでんぷんの変化」を例として述べます。啓林館では、めん棒にだ液をしみこませたものをでんぷん液に入れ、ヨウ素ででんぷん反応を見ます。一方、東京書籍では、二本の試験管にでんぷんの溶液を入れ、その一本にストローでだ液を入れ、2本の試験管にヨウ素液を入れて変化を見ます。結果は、だ液の酵素が、でんぷんを他のものに変えるので同じです。しかし、6年生の発達時期には、自分のだ液をストローでとって試験管に入れることに抵抗がある児童が多く見られます。このことから、啓林館のやり方には、発達時期に応じた配慮が感じられます。

さらに、器具の扱い方について、例えば3年生で使う「虫めがねの使い方」を見てみると、虫めがねを自分の目に近づけたままで、自分が前後に動くことでピントを合わせるようにしています。この使い方は、中学校で使うことになるルーペの使い方に基づいており、先々の学習へのつながりがよく考えられています。以上のことから、新興出版社 啓林館を推薦いたします。

太田委員
学校課長

啓林館は悪いところの記載が全くない。本当になかったのか。見てのとおりです。調査員の意見としてはこのように出ています。

太田委員
学校課長
若林委員

素晴らしい本と考えられますね。
そうなります。

啓林館の最後に、持ち運びをしながら植物観察をしたり星の観察をしたりするページがある。良いものだが、切り取りになっていないところが残念であり、裏表がうまく使えるのかどうか疑問である。それ以外はおおむね良いと思う。

教育長
学校課長

虫眼鏡のところをもう一度説明してほしい。
3年生の虫眼鏡の使い方の所で、虫眼鏡を自分の眼に近づけたままで自分が前後に動いてピントを合わす。

教育長

174ページにそのような絵が載っていますね。動かせるものを見るときは動かせるものを動かし、動かさないものを見るときは自分が動くように、と書いてある。

学校課長

自分と眼鏡の距離を変えないということだと思います。レンズと物との距離を変えるということで、中学校でも学習することです。

大萱委員
教育長

教科書の出版社のプレゼンテーションなどは最初にあるのか。ないと思う。

大萱委員 サイズはコンパクトなのが喜ばれる傾向にあると思うが、理科は、A4の幅で縦がB5で、ほとんどがこの大きさの中、あえて東京書籍だけは大きく、不利だと思うが、何かねらいがあるのではないか。

教育長 川崎小学校は一回り大きい新規格の机だが、亀山市において新規格の机が入っているのは一部なので、この大きさの教科書は厳しいかと思う。大きくても他を上回るものがある場合は採択されることもあるが。理科については、新興出版社 啓林館と決定してよいか。

(全委員異議なし)

教育長 新興出版社 啓林館に決定します。

学校教育課 次は生活科になります。「生活」につきましては、新興出版社 啓林館を推薦いたします。その主な理由としましては、身近な人々、社会及び自然に関わる体験や活動を大切にした内容で構成されていることが挙げられます。「わくわく」・「いきいき」・「ぐんぐん」の3段階構成により、活動の流れが分かりやすく、児童の主体的な活動につながっています。学びや活動の発展、深まりが期待できる内容になっています。また、他社に比べて、児童が興味・関心を持ち、見通しを持って具体的な体験や学習活動を展開することができるようになっています。言語活動によって友達や家族、地域の人などと対話したり、発達段階に応じたICTを活用したりする活動も適度に取り入れられています。安全や防災に関わる内容も、子ども自身が気付き、自分で身を守ることができるよう配慮されています。以上のことから、新興出版社 啓林館を推薦いたします。

教育長 大きさについては、同じAグループの東京書籍は大きいです。何か意見はありますか。ないようであれば、生活科は新興出版社 啓林館に決定してよいか。

(全委員異議なし)

学校課長 次に「音楽」につきましては、教育芸術社を推薦いたします。その主な理由としましては、精選された題材と多様な教材が用いられており、主体的・対話的で深い学びの実現に向けて配慮されているとともに、幅広く学習活動を行うことができるように工夫され、音楽科の特質に応じた言語活動や協働的な活動の後、学びを深めるための活動が明確に取り入れられていることが挙げられます。例えば、4年生においては、地域に伝わる音楽が取り上げられておりますが、26、27ページでは、「こきりこ」で民謡を楽しみ、30、31ページでは、「日本各地につたわる民謡や

郷土芸能」と題して、鑑賞資料として、民謡や郷土芸能が紹介されています。そして、これらの学習の間に、「ちいきにつたわる音楽を調べよう」と題して、地域に伝わる音楽を調べる学習を行い、学習を深められるように工夫されています。また、学年の目標を、5年4、5ページのように、歌唱、器楽、音楽づくり、鑑賞の領域別に、絵と言葉で「学びの地図」として表し、児童が1年間の学習の見通しをもつことができるように工夫されています。目次では、学習のめあてと教材が通し番号で配列されており各ページでは、日々の授業で何をねらって学習するのかを学習目標や活動内容を示して、児童が見通しをもって学習に取り組めるように配慮されています。さらに、我が国の音楽に親しむための教材につきまして、「こころのうた」と銘打ち、我が国の文化や自然環境の保護などの視点から説明文や情景写真などが用意されているとともに、「歌いつごう 日本の歌」として童謡や唱歌が精選されて取り上げられております。加えて、ユニバーサルデザインの視点から、全ての子どもたちにとって、使いやすく学びやすい教材となるよう、優しい色調のイラストや、白を基調とするすっきりとしたデザインを採用し、文字や楽譜が見やすいように配慮されています。以上のことから、教育芸術社を推薦いたします。

若林委員

確かに、教育芸術社は地域に根付いている。古くからの民謡等を「調べてみよう」という内容の部分があった。教育出版社の方は「日本のお祭りを訪ねる」や、ソーラン節等有名なものが載せてあったり、御囃子、サンバ等の紹介があったり工夫はあるが、地域に根差したという点では教育芸術社の方が適切だと思う。全体的にどちらも綺麗で分かりやすいが、選ばれている曲が、古くからのものを大切にしているところがあり、総合的に見ると教育芸術社の方が良いかと思う。

教育長

選ぶ方の年齢層が高いということはないだろうか。

若林委員

それもあろうが、古くからのものを歌い継いでいく部分がプラスアルファで付け加えられている点が評価できる。

教育長

教育芸術社に決定してよいか。

(全委員異議なし)

教育長

それでは、「音楽」は教育芸術社に決定します。

学校課長

次に、「図画工作」につきましては、日本文教出版を推薦いたします。その主な理由としましては、図画工作での学びが小学校で完結するのではなく、幼児期から小学校、そして中学校へと連続していることが分かるようになっていくことが挙げられます。

1・2年上の最初の、表紙裏、見開きのページには、幼児期の活動を振り返ることができる写真が、そして5・6年下の最終ページとなる裏表紙の裏、見開きのページには、中学生になる子どもたちへのメッセージが掲載されています。学習指導要領では学校段階間の接続が一層重視されており、指導者が幼児期や中学校との接続を意識して授業展開ができるような構成になっています。また、1・2年下12、13ページをご覧くださいと、形を工夫しながら粘土を楽しむ題材が掲載されており、「にぎってひっぱる」や「つかむようににぎる」といった具体的な手法や手順が写真とともに掲載されているため、いろいろな握り方を試してみたいという表現意欲が喚起されるような紙面になっています。さらに、3・4年下54ページ、55ページの版画の題材をご覧ください。4年生では彫刻刃を使って木版画を行います。初めて彫刻刃を使って線を彫る場合、使用するインクは黒色の単色の方が線や形がはっきりと表れ、どのように彫れば自分が彫りたい線や形に近づくかがイメージしやすくなります。また、58、59ページには、彫刻刃の使い方や木版画の刷り方について詳しく解説されており、59ページの「ほり方を考えよう」の説明では版木と刷った作品とでは左右逆になることや、同じ絵柄でも彫る場所が違えば印刷後の感じが変わることを目で確かめることができます。写真を使って例示されているため、指導する教員にとっても分かりやすい構成になっています。もう一点、他教科との関連について説明します。5・6年下10、11ページを見ていただくと、墨を使って表現する題材が掲載されています。地域の伝統産業「鈴鹿墨」と関連付けて、郷土学習の一環として扱うことができます。この教科書では、墨と水から作られる濃淡の世界を味わいながら表現できるようになっており、56ページには、濃淡や「にじみ」「ぼかし」「かすれ」といった表現の仕方について解説されていますので、墨の特長を生かした作品作りの参考とすることができます。その他、各学年とも「ひらめきポケット」という特設ページが設けられており、対話によって学びが広がっていくように工夫されています。以上のことから、日本文教出版を推薦いたします。

教育長

今、説明されたところは他社と違うとはっきり思った。推薦しており、日本文教出版としてよいか。

(全委員異議なし)

教育長

では、「図画工作」については、日本文教出版に決定します。

学校課長

次に、「家庭科」につきましては、開隆堂出版を推薦いたします。その主な理由としましては、児童の思いや気づきを大切に、何気なく過ごしていた日常を振り返る必然性を生み出し、意味や意義や課題を見つけ、主体的に生活をよりよくしようとする態度につながるよう配慮されていることが挙げられます。各単元の初めに、日常生活の中の様々なことについて「なぜそうするのか」「どのようにしているか」という問いかけをしています。10ページ「なぜ調理をするのだろうか」、20ページ「なぜぬうのだろうか」、80ページ「どのように時間を使っているだろうか」といった具合です。また、「調べよう」「考えよう」「話し合おう」「まとめよう」等の課題が、それぞれ各単元の適切な場所に提示され、「主体的・対話的で深い学び」につながるようになっていますが、目につきやすいよう、課題を青い四角で囲み、簡潔に表現することで、わかりやすく、活動に移しやすいものになっています。さらに、実習・製作教材について、52、53ページ、100、101ページなどのように、番号を付した大まかな作業の手順が、背景を薄いピンクや緑で統一した帯状の紙面に横流れに展開してあり、児童が主体的に学べるように、見やすく、学習の見通しが持てるようになっています。22、23ページにあります「玉結び」や「玉どめ」は、針や糸を初めて扱う5年生の児童にとって、想像以上に難しいところですが、見えない部分の図示や針や糸を引く方向を示す太い矢印、糸の結び目を示す図案など、多くの工夫があり、分かりやすくなっています。基礎的・基本的な知識・技能の確実な習得といった面でも効果的です。さらに、2年間で学習する内容について、単元（題材）を細かく構成・配列し、児童がスモールステップで学習を積み上げられるようにしてあります。各単元の初めには「学習のめあて」が明示され、実習や製作後には「できたかな」、単元の終わりには「ふり返ろう」「生活に生かそう」といったコーナーが設けられており知識・技能の確実な習得と実生活への活用につながるようになっています。加えて、児童の生活経験や発達段階に考慮した実習例や製作例が数多く掲載され、関心・意欲・技能に合わせて取り組めるようになっているといったところも、実践的な態度を育むことにつながっています。以上のことから、開隆堂を推薦いたします。

若林委員

同じ内容を各単元の所で見比べるとよく分かると思うが、「開隆堂」の39ページ「ミシンの使い方を知ろう」、東京書籍の

65ページが同じミシンの使い方になっているが、そのページ、もしくは見開きページで説明が完結されている点や、写真をうまく入れている点で、見た目も分かりやすい。40、41ページと66、67ページを比べてみると、開隆堂は見やすいし使いやすい。

教育長 A4版だけあって情報量が多い気がするが、子どもからの見やすさは開隆堂の方が上だと思う。それでは、推薦のあった開隆堂に決定してよいか。

(全委員異議なし)

教育長 それでは、開隆堂に決定します。

学校課長

次に、「保健」につきましては、東京書籍を推薦いたします。その主な理由としましては、学習の流れに一貫性があり、見通しを立てて学習しやすくなっていることが挙げられます。5・6年5ページをご覧ください。導入のステップ1「気づく・見つける」、6・7ページにステップ2「調べる・解決する」、ステップ3「深める・伝える」、8ページにステップ4「まとめる・生かす」という基本4ページ構成になっています。導入で児童に課題を考えさせ、本文に進むことができます。また、4ページ構成のため、書き込み欄も充実しており、それぞれの活動ごとに自分の考えをまとめることができます。また、資料や読み物として今日的な健康課題を豊富にわかりやすく取り扱っています。特に5・6年の32ページ「自転車安全利用五則」や36ページ「インターネットによる犯罪被害」は今の児童に必要な情報です。さらに、41ページからの「けがの手当」では、他社の教科書と違い、自分でできる手当の基本を押さえてから、具体的なけがの手当を学習し、さらにけがの手当の実習が組まれています。それにより、学習後、日常生活で役立つ力を身につけることができます。45ページで歯のけがを扱っているのもこの教科書の特徴です。加えて、4ページには他教科との関連について、「つなげよう」と一覧が示され、関連学習が分かりやすく示されています。以上のことから、東京書籍を推薦します。

教育長 東京書籍のイラストは、教科横断で統一されているのだろうか。くっきりしている。説明のあったことは理解できる。

太田委員 比べると、全体の流れが子どもにとって分かりやすい。

教育長 「保健」は、東京書籍に決定してよいか。

(全委員異議なし)

教育長 それでは、東京書籍に決定します。

学校課長

次に、「英語」につきましては、光村図書出版を推薦いたします。その主な理由としましては、言語材料、言語活動、題材内容など全ての面で、平易なものから難しいものへと段階的に、ゴールに向けてのステップが細かく組み立てられていて、児童が学習の積み重ねを実感できるようになっていることが挙げられます。5年生73ページUnit 6の上段をご覧ください。各Unitの冒頭では、そのUnitにおける目標がGoalとして明示されるとともに、児童が学習の見通しを持てるようHop! → Step 1 → Step 2 → Jump!の順で具体的な学習活動が示されており、次に74ページをご覧ください。Step 1、Step 2のページは見開きで構成され、まず、Let's watchを通してストーリーの中のターゲットとなる表現を児童に気付かせることから始まります。中段のLet's listenでは聞く活動、そして、下段のLet's chantではリズムに乗って語彙や基本表現を繰り返して練習します。次に75ページでは、上段のLet's Playで簡単な練習、中段のLet's Tryで言語活動を行い、下段のLet's writeで書く活動と、児童が語彙や基本的な表現に慣れ親しむことができるよう、スモールステップを踏んだ活動が設定されています。また、各単元のふりかえりや授業にリズム感をもたらす小さな言語活動の豊富さ、児童が書く活動を行う際に、同じページに参考となる単語の一覧が書かれているなどの支援が豊富であることも理由のひとつです。さらに、5・6年共に8、9ページにはCAN-DOリストがございますが、光村図書の特徴としまして、「聞く・読む・話す（やり取り）・話す（発表）・書く」の4技能5領域に関しまして、「できるようになること」の具体事項とともに、それらに該当するUnitが関連付けて明記されております。例えば、5年生巻末の132、133ページには当該学年で学習した表現がまとめられており、これらを活用して、児童自身が自らの学びを振り返り、次の学習に向かうことができると考えられます。以上のことから、光村図書出版を推薦いたします。

太田委員

中身を見ても良い評価しかない。何を基準に見るかと考えた時に、亀山市が先に進めている英語の授業の進め方と一致しているのが良いのではないかと思う。

学校課長

亀山市からも英語の教員が調査員となっており、これから英語教育を進めていく教員の中でも、光村図書出版を推す声は多かったと聞いている。

太田委員

具体的にはどのようなことか。

- 教育長 英語の調査部会に関わっている指導主事に聞いたことがあるが、同じAグループの教育出版の「Think 考えよう」のような学び方は亀山市ではしていない。光村図書出版は、「Let's chant」「Let's play」等で構成し、授業の進め方の構成が似ている。CAN-DO リストも分かりやすい。
- 太田委員 調査部会で英語の教員が関わっていただき、亀山市でやっていることとこれから進めていく教科書とが合致しており、その教員の方々が推しているものであれば一番良いと思う。
- 若林委員 光村図書出版も教育出版も、「When is your birthday?」と誕生日を訪ねる単元があり、教育出版は「私の誕生日は何月何日です」という答え方を練習したり、カードを取ったりという内容だが、光村図書出版は、それに加えて、誕生日にプレゼントで何が欲しいかを聞いている。関係ないように見えるが、子どもたちの意欲を高め、広げたり深めたりする教科書になっていると思う。子どもたちにたくさんの情報を与えたり、情報を引き出したりすることが必要だが、興味、関心を抱かせるという意味では、光村図書出版の方が幅のある授業ができるのではないかと思う。
- 教育長 教科書を全て教えるのではなく、「教科書で教える」と言われており、採択協議会でもそのような意見が出ていた。光村図書出版に決定してよいか。
- (全委員異議なし)
- 教育長 それでは、光村図書出版に決定します。
- 学校課長 最後に、「道徳」につきましては、光村図書出版を推薦いたします。その主な理由としましては、「いじめ問題」や「情報モラル」への向き合い方や、児童が自分を見つめ、心の揺れをもちながら考え議論する学習等において、内容が特に適していることが挙げられます。まず、いじめ問題について見てみますと、「いじめを許さない心」というテーマで学ぶようになっています。2つの教材とコラムがユニットとして構成されています。たとえば、6年生教材「泣き虫」「この胸の痛みを」では、具体的な生活場面を取り上げ、とまどいながらもいじめの不合理に声を上げる姿と、友だちから避けられていた自分が、一転して友だちを避ける立場になり胸を痛める姿が描かれています。その後の学習の手引きで教材内容から傍観者的な自分を見つめたり、具体的な行動を実際に演じてみることで体験的にスキルを高めたりするようになっています。また、コラム「いじめにどう向き合うか」で、いじめの事象における各立場について扱われており、2つの教材と深

く関連し、いじめに立ち向かう価値観がより確かなものとなるようになっていきます。次に情報モラルについて見てみますと、「情報と向き合う」というユニット構成で、1教材と関連する内容のコラムを配置しており、具体的な事例と解説的な内容を扱っています。低学年では、決まりや個人の作品の著作権、中学年からはインターネットへの依存、情報の行き違い、インターネット上の権利やマナーについて系統的に扱われています。たとえば、6年生では、教材「気に入らなかった写真」で写真を投稿したことのトラブルを考え、続いてコラム「インターネット上の権利」で他人の権利を尊重することについて学ぶように配置されています。さらに、今日的な課題について見てみます。亀山市の小中学校には、外国人児童生徒が多数在籍し、多国籍の子どもたちが共に学んでいる状況がある中、低学年の教材「世界の子どもたち」で暮らしの様子を紹介したり、教材「日本のお米、世界のお米」で食文化のつながりを扱ったりしながら、3年生以上でユニット「世界とつながる」で国際理解や交流について取り上げています。また、今日の人権問題として、ハンセン病や認知症の患者、障がいのある人の人権に関することについて、当事者の状況や願いを理解し、人権が尊重される社会づくりを考えていくことも大切だと考えます。5年生教材「祖母のりんご」で認知症の人がいる家族の在り方を考えたり、教材「だれもが幸せになれる社会を」でハンセン病患者の姿を通して偏見を解消する道を考えたり、6年生教材「ぼくの名前呼んで」で聴覚障がいの人がいる家族の姿が扱われていたり、人権学習の内容を考慮した教材が配置されています。以上のことから、光村図書出版を推薦いたします。

教育長

同じAグループの日本文教出版は、別冊として「道徳ノート」が付いている。それが大きな違いです。

宮村委員

道徳は、1つではなくいろいろな考え方があり、情報量が多い教科書を児童に与えてあげる方が良いのではないかと思いましたが、「道徳ノート」が付いているから厚く、これを除くと同じぐらいの量になるのかと思う。道徳ノートは自分で書くためにあるのか。

教育長

昨年、中学校教科用道徳の教科書の採択の中でノートについての議論があったかと思うが、小学生において、決められたお題があつて書くことが指定されていると、このノートを必ず使って授業をすとした時に、授業がそちらの方向に誘導されていく。それが、小学校の道徳としてはいかがかという意見が出ていた。

宮村委員 児童が多様なことを考え、自分の思いをこのノートに整理していくという意味では良いかと思うが。

教育長 ノートには題が付いており、自由ノートではないです。報告書にも、「記述内容が限定される」と黒丸になっている。それでは、「道徳」については光村図書出版に決定してよいか。

(全委員異議なし)

教育長 光村図書出版に決定します。

学校課長 続いて、令和2年度使用「特別の教科 道徳」以外の中学校教科用図書についてです。ここからは、簡単に説明をさせていただきます。小中学校で使用する教科書は、原則として4年ごとに採択をすることになっております。現在使用している中学校用教科書は、前回、平成27年度に採択が行われましたので、今年度は、教科書の内容は変わっておりませんが、中学校用教科書の採択替えができる年になります。しかし、中学校では、2021年度から新しい学習指導要領の完全実施に合わせて、全ての教科書が新しくなることから、来年度には中学校全教科の教科書を新たに採択することになります。令和2年度に中学校で使用する教科書は、前回の平成27年度に調査研究をした内容と変わっておらず、また、この間に新たに検定に合格した教科書もないことから文部科学省及び三重県教育委員会の通知により、採択するには各教科の調査員会を設けずに、平成27年度に調査研究をした内容をもとに、採択ができることになっております。鈴鹿市、亀山市とも現在中学校で使用している教科書で不都合はなく、令和2年度に使用する教科書は、「特別の教科 道徳」以外の全ての教科で、前回、平成27年度に採択された教科書を継続して使用することについて、先月開催された採択協議会で確認をされたところでございます。机上に配付させていただきました「平成28年度使用 中学校教科用図書 選定調査報告」から、教育委員会に推薦する教科書を読み上げさせていただきます。

国語：三省堂「現代の国語」

書写：東京書籍「新しい書写」

社会 地理的分野：東京書籍「新しい社会 地理」

社会 歴史的分野：東京書籍「新しい社会 歴史」

社会 公民的分野：日本文教出版

「中学社会 公民的分野」

地図：帝国書院「中学校社会科地図」

数学：教育出版「中学数学」

理科：学校図書「中学校科学」

音楽一般：教育芸術社「中学生の音楽」
音楽器楽合奏：教育芸術社「中学生の器楽」
美術：光村図書出版「美術」
保健体育：学研教育みらい「中学保健体育」
技術家庭 技術分野：東京書籍
「新しい技術・家庭（技術分野）」
技術家庭 家庭分野：東京書籍
「新しい技術・家庭（家庭分野）」

英語：教育出版「ONE WORLD English Course」

です。以上、令和2年度に使用する中学校用の教科書用図書を推薦いたします。なお、中学校「特別の教科 道徳」は、昨年度採択された教科書を今年度と来年度の2年間使用することが決まっております。中学校用「特別の教科 道徳」以外の教科用図書の採択につきまして、よろしく御審議いただきますようお願いいたします。

教育長 大きく変わるのは、来年度で、採択の調査が行われることとなり、大きな不都合がなければそのままという説明があったが、異議なしということによろしいか。

(全委員異議なし)

教育長 それでは、推薦どおりとします。
(議案第29号については、採択決定される。)

8. 報告事項

教育長 報告事項1「令和元年度教育予算9月補正について」説明を求める。

(総務課長、学校課長、参事兼生課長詳細説明)

(質問はなく、報告を終わる。)

教育長 報告事項2「令和元年度全国学力・学習状況調査の結果について」説明を求める。

(学校課長詳細説明)

太田委員 5ページの「先生は、あなたのよいところを認めてくれていると思いますか」が下がっているのは非常に残念である。保護者も子どもを褒めることは大事だが、先生は日中子どもと過ごす時間が長いため、子どもの良いところを探してあげる努力が必要では

ないか。どこの学校の数値が下がっているかというところまで分析し、極めて低い学校があるのであれば指導していただきたい。

学校課長

さらに細かい部分まで分析させていただきます。

宮村委員

A問題とB問題がなくなったということは、今年ポイント的には改善したようだが、どちらが改善したかというような分析は出来なくなったのか。

支援GL

基礎的な問題と活用的な問題は融合している部分もあるがそれぞれ分かれている部分もあるので、例えば先ほどの連立方程式の問題が出来ていないということは前回までのA問題に課題が残っているということです。

宮村委員

今後詳細な分析をしていく中では、従前やってきたようなAとBといった検討はできるのか。

支援GL

やろうと思えばできますが、問題数が減っているため難しい部分はあります。

若林委員

テレビで県の状況も発表されて、調査開始以来、最も良い成績となった報道がなされ、亀山市はどうなのかと期待していた。国語は、県、国の平均を超えて良かったという結果が出て、少しずつ努力が実ってきたのだと嬉しく思った。過去、私がいた頃は10ポイント近く差があったこともあったので、3ポイントの差に縮まってきており、先生や子どもたちの努力が実ってきたと思う。今後も気を緩めることなく頑張ってもらいたいと思っている。

教育長

事務局は意見いただいたことは受け止めて、しっかり行動に移すようにしてください。

(ほかに質問はなく、報告を終わる。)

教育長

報告事項3「中学校総合体育大会等の結果について」説明を求める。

(学校課長詳細説明)

大萱委員

中部中学校の陸上部の100メートルを10秒台で走った中山君の記録は全国でも良い記録なのでは。

学校課長

良い記録です。日本一です。歴代2位です。

大萱委員

県大会において10秒62で走ったということか。

学校課長

そうです。中学校歴代2位です。

宮村委員

議会の現況報告は、結果によって変えるのか。

教育長 期日のギリギリまで変えることができる部分は変えます。
(ほかに質問はなく、報告を終わる。)

教育長 報告事項4「市立図書館の臨時休館について」説明を求める。
(図書館長詳細説明)
(質問はなく、報告を終わる。)

9. その他

参事生課長 新図書館整備事業ニュースレター第9号をご覧ください。今、どのような検討を行っているかを示している。管理運営の基本的な方針の作成を現在進めているところですが、そこで議論となっていることは、開館日数、開館時間、利用者の要件、館内での飲食、貸し出し冊数や最新機器の導入等です。これらのことは図書館整備推進委員会等で検討を重ねています。現行よりも拡充していく方向で進めています。もう一つは、裏面、体制の在り方です。直営で行うのか、直営と民間の業務委託を組み合わせるもので行うのか、指定管理で行うのかと、大きく3つを検討しており秋に中間案として示させていただきます。体制については、ランニングコストも含めて十分な検討をしていきます。

教育長 今のところ、開館日数は記載と大きく変わらない。開館時間は大きく変わり、午前9時から午後8時まで。ただし、多目的室や交流エリアなどは、入る店舗との関係もあるが、午後9時まで開放していくかどうか検討する。図書館利用は、亀山市在住か在勤、在学といった縛りがあったが、拡大してはどうかと思っている。1回に貸し出す冊数は増やそうとしている。館内での飲食は、飲み物は一定の条件を付けて可能とし、食べ物は一定の場所で可能としていく。最新技術は、自動貸出及び自動返却を考慮しており、盗難防止装置を付ける検討をしている。自動書庫、いわゆる閉架書庫にある本を機械が自動で取ってくるシステムについては、費用対効果で導入しない方向で検討している。管理運営形態については、図書館整備推進委員会では、直営が良いという方もいれば、行政が関わって民間が行った方が良いという意見もある。

- 若林委員 交流エリアを拡大すること等、便利になって良いと思うが、運営形態が直営となった時に、大丈夫なのか。
- 参事生課長 開館日数、開館時間等が要件となるため、その場合、何人のスタッフがどのように必要かが見えてきます。それらを勘案して一番適切な管理運営体制にしていくこととなります。
- 若林委員 直営の場合もあるかもしれないが、あまりこだわらず、どういう図書館にしたいかが優先されるということか。
- 参事生課長 そうです。
- 教育長 中間案が早くて秋に出てくる予定なので、これだけはこの強い要望があれば言ってください。必要に応じて総合教育会議を開催しなければならないと思う。
- 太田委員 ニュースレターを見て、民間導入に傾いている印象を受けたので、少し心配である。
- 宮村委員 「開館時間を午後8時までにしたと考えています」と記載があり、「貸出期間は15日間としたと考えています」と書いてある。「自動書架については導入しない検討を進めています」とも記載があるが、専門家が考え、検討を進めているということですか、それとも教育委員会ですか。
- 参事生課長 最新技術、機器類については、金額面のことも関わってくるため、トータル的に「検討」と記載させていただいている。専門家に意見をいただき、最終的には市の方で判断しますので、「検討」としています。
- 宮村委員 他のものについてはこの方向で行くことになるのか。
- 参事生課長 そのように考えています。
- 教育長 図書館整備基本計画を作るときも、作成する直接的な会は図書館整備推進委員会であったが、そこに決定権がある訳ではない。そこで協議をして形を作り、決定していくのは教育委員会が主体となる。大規模な予算を伴うものは、市長に承諾をもらわなければならないので総合教育会議が必要である。今の段階は、この方向で進みつつあるという報告です。
- 太田委員 最近はないが、これまでワークショップを開いており、来ていただいた方への報告が思うが、考えているか。
- 参事生課長 ワorkshopは基本設計を作る骨組みの部分を考えるため、

たくさんの方の意見を聞こうと思い、来ていただいた。現段階の管理運営、実施設計となると、予算、体制の問題があり、一方的に提案いただくということにはならず、ある程度こちらで進めさせていただきたいので、全てをワークショップでという形は取れないと考えています。状況をお知らせしていくことが必要であり、図書館のボランティア団体の方等には報告させていただきたい。ワークショップのメンバーの方からは、現在の状況を報告する出前講座の依頼も受けていますので、そういう機会を通じて皆さんにお知らせします。

- 大萱委員 ブックシャワー、燻蒸処理はしなくてもよくなるのか。
- 参事生課長 ブックシャワーについては、利用者が選択することになります。借りたい本の殺菌が気になる方に使っていただくこととします。
- 大萱委員 もう少し開館日を増やすと思っていたが変わらないのか。燻蒸処理、整理等で休館にすることもあると思うが、新しいシステムになってうまくいくのか。
- 図書館長 燻蒸処理は歴史博物館では行っておりますが、図書館は行っていません。蔵書点検をする特別整理期間は、本の整理、確認のためどうしても必要ですので、290日の現行通りでお願いしたいと考えています。
- 大萱委員 休みが多いと感じたが。
- 図書館長 館内のテーマ展示を変えたりする作業はお客さんがお見えでない時に行いたいと考えているため、現行通りほぼ月1回、模様替えや館の運営について考える場を設けたいと考えています。
- 大萱委員 週1日の休み以外にその日を設けるのか。
- 図書館長 そうです。
- 参事生課長 駅前ですので、待ち合わせ等の利便性を考慮すると、エントランスの交流エリアや多目的室やトイレについては開放することを考えています。図書館は午後8時までですが、それらのエリアについては午後9時まで入れる状態にしていきたい。
- 若林委員 裏面の「自働貸出機」の字が合っているか。
- 参事生課長 「働」を「動」に訂正してください。
- 教育長 図書館については別の機会に報告することとし、もう1点お願いします。

参事生課長 8月1日号の広報で各戸配付していますが、「第41回少年の主張三重県大会」が亀山市で8月31日午後で開催されます。亀山市内の中学生の作文や吹奏楽部の演奏、デザイン画の募集を行った作品の展示をします。お時間がありましたら、ぜひ参加をお願いします。

教育長 地元開催なので出品数が多く、14人中3人が亀山市の中学生で、各校から1人ずつ選ばれている。

9. 閉会

午後5時30分

以上会議の顛末を記録し、下記のとおり署名する。

教育長

2番委員

3番委員